

令和3年度 評価充実協議会プログラム

【開催方法】 オンデマンド配信（限定公開）

【配信期間】 令和3年7月12日（月）～30日（金）（3週間）

1. 開催趣旨及び活動状況報告：「本機構の活動状況について ～令和2年度認証評価を中心に～」

報告者 伊藤 敏弘 常務理事・事務局長

2. 講演：「私立大学の内部質保証に向けた経営責任者の課題 ～コロナ対応と学校法人ガバナンスの見直し～」

講師 西井 泰彦 私学高等教育研究所主幹
学校法人就実学園理事長

3. 令和2年度 認証評価を受審して 事例発表1：「内部質保証の取組み～法人運営を中心に～」

講師 茂木 明 学校法人埼玉医科大学常務理事・事務局長

事例発表2：「内部質保証の取組み～教学面を中心に～」

講師 竹内 治彦 岐阜協立大学学長

事例発表3：「法人全体の内部質保証 ～大学・短期大学の同時受審を経験して～」

講師 松田 藤夫 学校法人作陽学園副理事長

本機構の活動状況について ～令和2年度認証評価を中心に～

公益財団法人 日本高等教育評価機構
常務理事・事務局長 伊藤 敏弘

令和2年度の認証評価

学校教育法の一部改正(令和2年4月1日施行)への対応

学校教育法の一部改正の概要

- ① 大学等の教育研究等の状況を評価する認証評価において、当該教育研究等の状況が大学評価基準に適合しているか否かの認定を義務付け【第109条第5項】
- ② 大学は適合認定を受けるための努力義務【第109条第6項】
- ③ 適合認定を受けられなかった大学等に対して、文部科学大臣が報告又は資料の提出を要求【第109条第7項】等

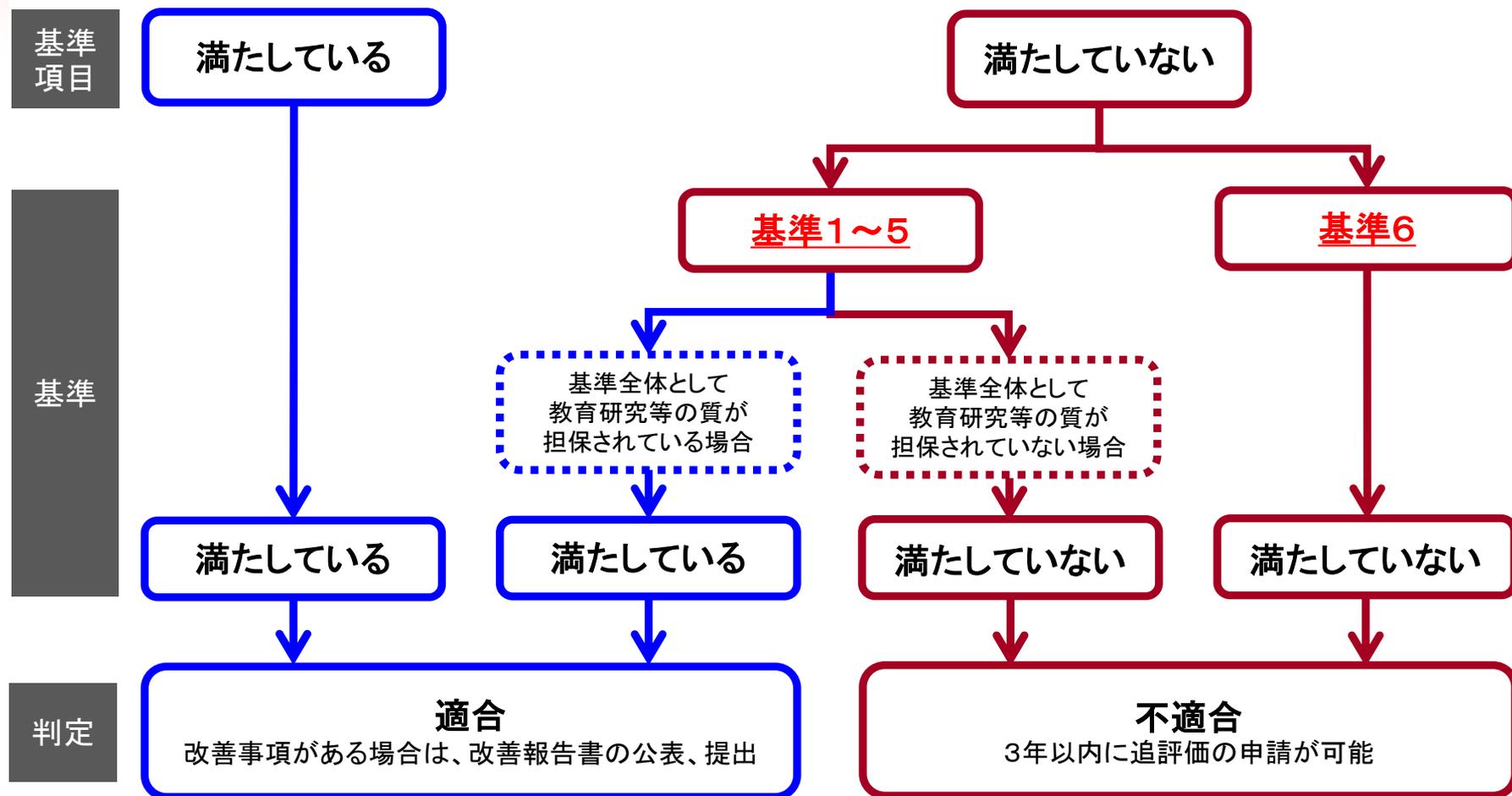


【評価機構の対応】

- ① 認証評価の判定を「適合」「不適合」のみとし、「保留」と「再評価」を廃止
- ② 「不適合」の大学等は、3年以内に「追評価」の申請が可能、評価結果は公表

令和2年度の認証評価

学校教育法の一部改正（令和2年4月1日施行）への対応



令和2年度の認証評価

学校教育法の一部改正(令和2年4月1日施行)への対応

(評価チーム)

評価チーム評価報告書案⇒12月末または1月初旬に大学へ通知
(基準項目を満たしているか否かの評価のみ記載)

<判定の期日>

○基準項目全て満たしている場合

⇒各大学の実地調査最終日まで

○満たしていない基準項目があった場合

⇒「評価報告書案」の確定(2月下旬ごろ開催の判定委員会)までとし、
実地調査以後でも満たしていない基準項目の要因の改善が認められた場合は、
基準項目の評価を「満たしている」と判定委員会の判断で変更することができる。

令和2年度の認証評価の実施

認証評価のスケジュール

5月	46大学等の評価員の選定	
7月	評価員セミナー(オンライン)	動画配信
7月末	自己点検評価書受領	通常6月末の提出締切りを1か月延期
8月	団長セミナー(オンライン) 4日間開催	令和2年度以降の認証評価の変更点 コロナ禍における評価の取り扱いについて Web会議を行う際の留意点等
	チームごとの情報共有(オンライン)	評価チームメンバーの紹介 全体スケジュールの確認及び決定 評価体制及び担当者の決定
9月	第1回評価員会議(オンライン)	通常より時間を短縮して実施
10月	実地調査(オンライン)	2日間
12月	第5回評価員会議(オンライン)	通常より時間を短縮して実施
2月	判定委員会(2回ともオンライン) 意見申し立て審査会(オンライン)	
3月	理事会(オンライン)	

令和2年度の認証評価の実施

実地調査のスケジュール(オンライン、2日間)

<移動日>

	団長と評価機構との打合せ
--	--------------

<第1日>

10:00~11:00	第2回評価員会議(60分)
11:00~11:30	休憩(30分)
11:30~12:30	顔合わせ及び大学責任者との面談(60分) 基準1、基準項目6-1及び6-2
12:30~13:30	昼食(60分)
13:30~14:30	学生との面談(60分)
14:30~15:00	休憩(30分)
15:00~17:30	大学関係者と基準ごとの面談(150分) 基準2~基準5、基準項目6-3 ※1基準=30分
17:30~18:00	終了後の評価員打合せ(30分)
18:00~	自己評価担当者へ追加面談等の連絡

<第2日>

10:00~11:00	第3回評価員会議(60分)
11:00~11:15	休憩(15分)
11:15~12:15	大学関係者との面談(60分) 独自基準と第1日目で終了できなかった基準
12:15~13:15	昼食(60分)
13:15~14:20	追加面談(60分)+5分休憩
14:20~15:50	第4回評価員会議(90分)
15:50~16:00	終了の挨拶(10分)

実地調査前に大学に動画の提出を求めた
 ○大学の施設・設備に関する動画
 ○大学の沿革、建学の精神及び特記事項に関する動画

令和2年度の認証評価の実施

◆ 令和2年度 担当評価員へのアンケート結果

Q: オンライン会議システム等を利用した認証評価について、
 次の各項目でオンライン等での実施が十分可能であると感じ
ましたか。 評価員経験者におかれましては従来の対面方式と
 比較して、お選びください。

(とてもそう思う。そう思う。どちらでもない。そう思わない。全く思わない。)

	とてもそう思う。 そう思う	そう思わない。 全く思わない
評価員セミナー	75.7%	8.3%
チームごとの情報共有	60.7%	15.5%
第1回評価員会議	56.3%	17.1%
実地調査	26.0%	50.8%
教育研究環境等の視察	16.6%	57.0%

令和2年度の認証評価の実施

◆ 令和2年度 受審大学へのアンケート結果

Q: 実地調査についてお伺いします。オンライン会議システムを利用して実施した各種面談は、法人の現状、大学の教育研究活動状況について評価チームとの相互理解を得るに十分な手段だったと思いますか。

(とてもそう思う。そう思う。どちらでもない。そう思わない。全く思わない。)

	とてもそう思う。 そう思う	そう思わない。 全く思わない
実地調査全体	70.3%	10.8%
責任者との面談	83.8%	5.4%
学生との面談	75.7%	5.4%
基準ごとの面談	70.3%	5.4%
教育研究環境等の視察	54.0%	16.2%

令和2年度の認証評価結果

評価結果の提供及び公表

- 文部科学省記者クラブへの資料提出
- 評価結果報告書作成及び公表
- 判断例の公表(平成24年度から実施)

・令和2年度 評価結果(令和3年3月25日公表)

大学	42校	適合	40校
		不適合	2校

大学再評価	1校	適合	1校
-------	----	----	----

評価結果の変更	1校	平成29年度評価結果「保留」を「不適合」へ変更	
---------	----	-------------------------	--

短期大学	2校	適合	2校
------	----	----	----

ファッション・ビジネス系専門職大学院			
1研究科		適合	

令和2年度の認証評価結果

優れた点と改善を要する点

●大学及び短期大学機関別認証評価

	基準1	基準2	基準3	基準4	基準5	基準6
優れた点	14(1)	69(2)	42(2)	21	16	12
改善を要する点	1	6	8	18	22	13

※()内は、短期大学機関別認証評価の数値

基準1 使命・目的等 基準2 学生 基準3 教育課程 基準4 教員・職員 基準5 経営管理と財務 基準6 内部質保証

●ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価

	基準1	基準2	基準3	基準4	基準5
優れた点	0	1	2	0	0
改善を要する点	0	0	0	0	0

基準1 使命・目的等 基準2 学生 基準3 教育課程 基準4 教員 基準5 内部質保証

令和2年度の認証評価結果

◆令和2年度 優れた点(重点評価項目)

●基準6「内部質保証」について

「教学監査アドバイザー」や外部評価委員会による客観性の高い点検・評価の仕組みを導入し、機能していることは評価できる。

学生による授業評価アンケート、卒業時アンケートや学修行動調査結果などの学修や学生生活に関わるデータを集計・分析して大学ホームページに掲載するなど、積極的にIR情報を公開していることは評価できる。

学部特性や大学運営に造詣の深い外部評価委員を委嘱し、自己点検・評価の結果について意見を求めるなど、評価作業に協力を得ていることは評価できる。

事業の達成度チェックとして、「事業計画に対する項目評価チェックシート」を活用し、次年度の事業計画に反映させる制度は、評価できる。

内部質保証の方針を明記する「中長期目標・基本計画」を定め、使命・目的、教育目的等の実現に向けた継続的な改善活動の循環プロセスを構築し、恒常的に改善・改革を推進していることは高く評価できる。

すべての基準の優れた点(当機構ホームページで公表)

令和2年度の認証評価結果

◆令和2年度 主な改善を要する点

●基準1「使命・目的等」

教育目的等の学則などへの明記

●基準2「学生」

学科ごとの収容定員の超過

学科ごとの収容定員の未充足

学校医の不在

●基準3「教育課程」

成績評価基準の明確化

大学院の学位論文審査基準の策定

令和2年度の認証評価結果

◆令和2年度 主な改善を要する点

●基準4「教員・職員」

学長のガバナンス

FDの実施方法

教授会及び委員会の運営

●基準5「経営・管理と財務」

教育情報の公表

理事会、評議員会の運営

監事の監査報告書

財務基盤

●基準6「内部質保証」

重点評価項目として、他の基準での指摘との関連に基づく指摘

令和2年度の認証評価結果

令和2年度判断例(当機構ホームページにて公表)

令和2年度に新たに追加された判断例

1-2. 使命・目的及び教育目的の反映

- 事業に関する中期的な計画が作成されていない場合は、
「改善を要する点」として指摘し、公表する。

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- 研究科において、学位論文に係る評価に当たっての基準が設定されていない場合は、
「改善を要する点」として指摘し、公表する。

5-1. 経営の規律と誠実性

- 寄附行為について、閲覧に供していない場合は、
「改善を要する点」として指摘し、公表する。

令和2年度の認証評価結果

5-1. 経営の規律と誠実性(つづき)

- 私立学校法第 47 条で指定している事項について、作成していない場合、または閲覧に供していない場合は、「改善を要する点」として指摘し、公表する。
- 私立学校法第 63 条の 2 で指定している事項について、ホームページ上で公表されていない場合は、「改善を要する点」として指摘し、公表する。

5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック

- 評議員会を書面で開催している場合は、「改善を要する点」として指摘し、公表する。

6-3. 内部質保証の機能性

- 事業計画又は事業に関する中期的な計画の内容について、直近の認証評価の結果が全く踏まえられていない場合は、「改善を要する点」として指摘し、公表する。

JIHEE channel(動画)について

新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、令和2年度実施の機関別認証評価 自己評価担当者説明会の代替として説明用の動画(YouTube)を作成し、対象大学へ配信するとともに、当機構HPにて公開した。

当機構ホームページ > トップ > 広報・刊行物：

https://www.jiheer.or.jp/publication/youtube_channel/

公開（全15種類）

- ◆ 認証評価制度と日本高等教育評価機構の概要
- ◆ 評価システムについて
- ◆ 評価基準等について
- ◆ 調査研究等について

JIHEE channel(動画)について

◆認証評価制度と日本高等教育評価機構の概要

[【JIHEE】 認証評価制度と日本高等教育評価機構について](#)
(6:33)

[【JIHEE】 第三期の認証評価について](#)(15:30)

◆評価システムについて

[【JIHEE】 評価機構が行う評価システムについて](#)(8:36)

[【JIHEE】 評価の実施に関わる関係者の役割について](#)(7:15)

[【JIHEE】 書面調査について](#)(7:29)

[【JIHEE】 実地調査について](#)(11:26)

[【JIHEE】 評価報告書ができるまで](#)(7:21)

JIHEE channel(動画)について

◆評価基準等について

[【JIHEE】 評価基準の概要と基準1について\(7:00\)](#)

[【JIHEE】 基準2.学生\(7:59\)](#)

[【JIHEE】 基準3.教育課程\(6:53\)](#)

[【JIHEE】 基準4.教員・職員\(7:41\)](#)

[【JIHEE】 基準5.経営・管理と財務\(8:28\)](#)

[【JIHEE】 基準6.内部質保証\(5:59\)](#)

[【JIHEE】 独自の基準と特記事項\(1:45\)](#)

◆調査研究等について

[【JIHEE】 第3期に提出された自己点検評価報告書について
\(19:54\)](#)

認証評価に関する調査研究報告書の発行(令和3年3月)

認証評価に関する調査研究 第10号 (令和元年・2年度実施報告書)

調査研究1 自己点検評価書の作成に関する調査研究

調査研究2 北欧の大学評価に関する調査研究

当機構ホームページ > トップ > 調査研究・国際連携

https://www.jihee.or.jp/publication/pdf/research_report/r3_ninsyou_chyousa.pdf

認証評価に関する調査研究報告書の発行(令和3年3月)

調査研究1 自己点検評価書の作成に関する調査研究

認証評価第3期(平成30年度～令和2年度)に当機構で受審した
77大学の自己点検評価書を対象に

「データ分析」

文字数、エビデンス資料の提出数など、自己点検評価書を構成する要素からデータとして収集できるものを比較・分析。大学の規模(学部数)、当機構で何回目の評価かといった属性も分析に加えた。

「優れた自己点検評価書の事例紹介」

対象の中から優れた自己点検評価書を選び、何が、どのように、どれくらい書かれているかを整理した。テキストマイニングソフトを使用し、定量的な分析(語句の使用頻度など)も試みた。優れた自己点検評価書を作成するにはどのような体制や方法が必要だったかを知るために、作成した大学へのインタビューも組み込んだ。

認証評価に関する調査研究報告書の発行(令和3年3月)

調査研究2 北欧の大学評価に関する調査研究 (ベンチラーニングに関する調査研究)

「スウェーデンとフィンランドの高等教育の概要」

「訪問調査」

スウェーデン

訪問先①:スウェーデンレッドクロス大学

訪問先②:スウェーデン高等教育機構

訪問先③:パー・バーグランド氏(スウェーデン王立工科大学教授)

訪問先④:クラス・ヘットストランド氏(ストックホルム大学副学長)

訪問先⑤:メラルダレン大学

フィンランド

訪問先⑥:フィンランド教育評価センター

訪問先⑦:アアルト大学

訪問先⑧:ヘルシンキ大学

令和3年度 認証評価の実施

大学	56校
短期大学	7校（大学との同時受審）

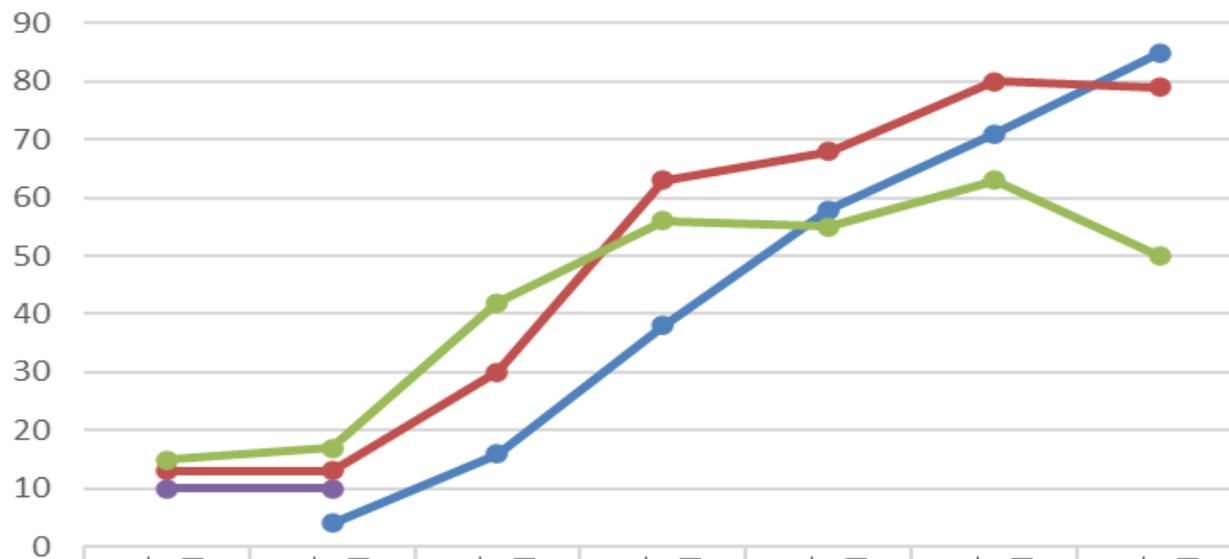
評価員数：309名

評価の実施方法

令和2年度同様に実地調査を含め
すべてオンラインで実施（予定）

第1～第4期の受審大学数の変遷

受審大学数



	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
● 第1期 平成16～平成22年度		4	16	38	58	71	85
● 第2期 平成23～平成29年度	13	13	30	63	68	80	79
● 第3期 平成30～令和6年度	15	17	42	56	55	63	50
● 第4期 令和7～令和13年度	10	10					

ご視聴ありがとうございました。